

# 障がい者が地域社会でいきいきと働くための支援

障がい者支援

農福連携

環境保全

## NPO法人 とくしま障がい者就労支援協議会

代表者：理事長 松下 義雄  
所在地：徳島県徳島市南矢三町2丁目1番59号  
設立認証：平成19年12月26日  
構成団体：障がい者授産施設・就労事業所42団体  
事業内容：保健・医療・福祉、経済活動の活性化、職業能力・雇用機会、連絡・助言・援助

### ○事業・活動の概要

就労継続支援B型事業所等における工賃水準の向上のための取組として、平成19年度から各都道府県において、「工賃倍増5か年計画」が進められた。こうした中、徳島県においても工賃水準の向上を図り、障がい者が経済的に自立し、豊かな生活を送れる環境づくりを目指し、平成19年12月26日にとくしま障害者授産支援協議会（現とくしま障がい者就労支援協議会）を立ち上げた。

当初、福祉的就労の中では、商品を作る、売るというノウハウが少なかったことから、まずは専門家からの指導と協力を得て、各施設に合った経営戦略等を検討していった。その後、平成21年度には、同協議会の統一ブランド「awanowa」を誕生させ、統一したブランド戦略を策定した。各施設・事業所間で意識を共有し、工賃向上に向けた取組を進めている。また、販売の機会を確保するため、全国のナイスハートバザールと連携した取組も行っている。

### ○障がい者就労支援の取組

同協議会では、各施設と共に、阿波番茶、鳴門金時、和三盆など地元の特産品を使ったスイーツの開発を行っている。また、各施設で製造したスイーツをたくさんの方に知ってもらいたい、もっとおいしいスイーツを作りたいという思いで「awanowa+スイーツコンテスト」を開催している。さらに、地元徳島で採れた野菜から作った商品の開発だけではなく、生産にも積極的に取り組んで農福連携を推進したり、地場産業の藍染めを施設で担っていくための取組も行っている。

これらの商品等について、官公庁から大量発注があった場合は、同協議会が各施設に対し、受注をあっせん又は仲介したり、各施設の得意分野に合わせて業務の割り振り等を行う等、共同受注窓口としても活動している。

「あいねこ・藍ずきん」という同協議会のマスコットキャラクターを活用し、分かりやすくエシカル消費について紹介する啓発チラシ等を作成、配布したり、様々な場所でパネル・ポスター、サンプル展示をするなど広報活動も積極的に行っている。

そのほかにも平成25年度から「ほっとかない事業」として、限界集落で買物に不便を感じられている方の下へ、施設で作ったお弁当やパン、焼き菓子に加え、地域で調達した日用品を届ける等、移動販売車を使った買物支援を行っている。また、高齢者のお宅を訪問し、話をしたり、安否を確認する見守り活動も行っている。これらの活動により、障がい者にとっても高齢者と会話することでコミュニケーション能力が身に付き、また、地域を支える主役として、社会に貢献する自覚を持ち、責任感を高めることができる。



### ○高校や大学と連携した取組

同協議会は、平成28年に徳島県立城西高等学校とエシカル活動、農福連携等における相互協力協定を締結しており、同高校でのニードル細工やつまみ細工の技術指導に参加したり、文化祭や校内販売所「そよかぜ」での販売にも参加している。また、徳島大学と共同でフタホシココロギの粉末を練りこんだパンやプロテインバーといった食品の開発を行ったり、施設でのココロギの飼育開始に向けた取組も進めている。ココロギは、タンパク質を多く含んでおり、育てるための餌も他の動物より少なく済むので、環境に掛かる負荷も小さいという。

### ○課題と今後の目標

同協議会は、今後も地域社会への貢献を念頭に置きながら、魅力的な商品開発を行ったり、それぞれの施設の更なる強みを発見し、それをいかした業務分担をしていきたいと考えている。こうした取組により工賃水準向上の底上げを目指している。

そして何よりもまず、様々な活動をしているということ一人でも多くの人に知ってもらい、障がい者に対する理解を深めてもらうことが重要な課題であると考えている。

公表日：令和元年10月23日 取材：令和元年8月  
外部リンク：<http://arunjo.com/>